



▲父・孝洋さんとの素振り練習の成果を打席で発揮します

9年前の北京五輪。ソフトボール女子日本チームは速球が武器の上野由岐子投手を中心に勝利を重ね、悲願の金メダルを獲得しました。その上野投手に憧れてソフトボールを続けてきた1人の少女が、この春、世界の舞台に立ちました。三原小学校6年(現在は第二中学校1年)の岡本美柚さん。3月末にオーストラリアで開催された国際親善大会に小学生女子日本代表チームのメンバーとして出場しました。

幼い頃から父・孝洋さんと二人三脚でソフトボールに取り組み、組んできた岡本さん。現在、日課の夜間練習で課題にしているのがピッチングです。「ストリートをもっと磨きたい」。そう思うようになった理由は、勝てば日本一という大舞台で味わった悔しさでした。昨夏の全国大会決勝戦。投手としてマウンドに立った岡本さんは、突然降り出した雨の影響でコントロールを乱し、フォアボールから追加点を許しました。

最終回まで投げ切りました。結果は惜しくも敗戦。「励ましてくれてくれたチームメイトに申し訳ない」。岡本さんはこの経験から、走り込みなどの基礎練習に加えて、鏡を使ったフォームの確認や体幹トレーニングにも取り組むようになりました。夢は「オリンピックの舞台で投げること」。ソフトボールは東広島市のクラブチームで続け、入学する中学校にはソフトボール部がないため、「陸上部で足腰を強くして、ソフトボールに生かしたい」と胸を膨らませます。



## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 13

ソフトボール女子  
世界大会のマウンドに立つ  
女子ソフトボール日本代表 岡本美柚さん  
おかもと みゆう

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

### 写真・絵を募集しています

#### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人  
**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 [somukoho@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:somukoho@city.mihara.hiroshima.jp))へ

### 西野の梅

撮影エピソード やぶきひでこ 撮影者 矢吹秀子さん

紅梅保育所のそばにある西野川の土手に梅の花が咲き、見ごろを迎えていました。冷たい川風にも負けず、春を告げている姿を撮影しました。



●撮影年月 平成29年3月  
●撮影場所 西野三丁目